



このたびは、TOAスマートマトリクスシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの操作説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上 げます。

# TOA株式会社

#### 第1章 システムマネージャー SX-2000SM

各部の名	称とはたらき	
前面		-2
設定デー	タの運用のしかた(DIP スイッチ2を操作)	
設定デー	- タの使いかた	-4
CFカー	ドの挿入のしかた	-4
履歴デー	<b>タの取り込み</b> (DIPスイッチ1、2を操作)	-5

### 第2章 音声入力ユニット SX-2000AI

各部の名	名称と	はた	うき

次

Ħ

前	面							 	2-2
蛍光	长表示	下部						 	2-4
+-1	コッ	クの	設定と	解除	(DIPス1	ッチ1を	を操作)	 	2-6
×=:	- <i>-</i>	画面	īの操作	F					

メニュー画面操作に使用するキー	2-7
メニュー画面の階層図	2-8
メニュー画面の説明	2-9

#### 第3章 音声入力ユニット SX-2100AI

# 

#### 第4章 音声出力ユニット SX-2000AO

#### 各部の名称とはたらき

前 面	···· 4-2
蛍光表示部	4-4
キーロックの設定と解除(DIPスイッチ1を操作)	4-6

メニュー画面の操作 メニュー画面操作に使用するキー 4-7 メニュー画面の階層図 4-8 メニュー画面の説明 4-9

#### 第5章 制御入力ユニット SX-2000CI

第6章 制御出力ユニット SX-2000CO

- - 第7章 リモートマイク RM-200SA リモートマイク拡張ユニット RM-210

#### 各部の名称とはたらき

RM-200S	A	2
<b>BM-210</b>		4

#### 表示灯の状態

ゾーン選択時の表示灯
トークキーの表示灯
BGM パターン変更時の表示灯
業務パターン放送時の表示灯
業務 EV 放送時の表示灯
RM 放送状態表示時の表示灯
ランプテスト時の表示灯
故障受理時の表示灯
故障リセット時の表示灯
緊急放送パターン起動時の表示灯
緊急放送パターン停止時の表示灯
緊急シーケンス停止時の表示灯 ····································
緊急シーケンスフェーズ移行時の表示灯
緊急復旧時の表示灯

# 第8章 操作のしかた

BGM放送と業務放送のしかた	
SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO から放送する	
機能キーを使って放送する ·····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-2
チャンネルキーを使って放送する	3-3
RM-200SA、RM-210から放送する	3-4
選択ゾーン(パターン)の放送例	3-5
選択ゾーン(個別)の放送例	3-6
BGM 放送の例	3-7
業務放送の例	3-7
業務 EV 放送の例 <b>8</b>	3-8
緊急一斉放送のしかた	3-9
緊急放送のしかた	
緊刍放送とけ	
	10
RM-200SA、RM-210から放送する	10
RM-200SA、RM-210から放送する	10 11 16
RM-200SA、RM-210から放送する	10 11 16
RM-200SA、RM-210から放送する  8-    入出力音量を調節する  8-    入出力チャンネルをモニターする  8-    故障検知機能の使いかた  8-	10 11 16 17
RM-200SA、RM-210から放送する  8-    入出力音量を調節する  8-    入出力チャンネルをモニターする  8-    故障検知機能の使いかた  8-    ランプテストをする  8-	10 11 16 17
RM-200SA、RM-210から放送する  8-    入出力音量を調節する  8-    入出力チャンネルをモニターする  8-    故障検知機能の使いかた  8-    ランプテストをする  9-    リモートマイクの操作例  8-	10 11 16 17 18 23

# 第1章

# システムマネージャー SX-2000SM

SX-2000 システム全体の音声信号のルーティングや優先制御などができるシステム マネージャーです。

制御入力8、制御出力8、故障状態出力、故障状態入力およびキー、アクセス表示、 モード表示、故障表示の機能を実装し、さまざまな制御や状態監視ができます。

SX-2000 設定ソフトウェアを使用して各種機能の設定を行い、設定データを CF カードに保存します。その CF カードを SX-2000SM に実装することにより、システ ム全体の各種制御を行います。

また、システム全体の動作履歴を記録し、その内容を動作ログとして CF カードに 保存できます。

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる1Uサイズ\*のユニットです。 電源入力は2系統を実装しており、停電時のバックアップ用電源を接続できます。

\* 1U サイズ = 44.5 mm(基準サイズ)

/ 各部の名称とはたらき

[前面]



- LAN 表示灯 [LAN] (緑)
  後面の LAN 接続端子が接続されると点灯し、LAN 通信中は点滅します。
- SX LINK A表示灯 [SX LINK A] (緑)
  後面の SX リンク A 端子が接続されると点灯し、
  SX リンク A での通信中は点滅します。
- SX LINK B表示灯 [SX LINK B] (緑)
  後面の SX リンク B 端子が接続されると点灯し、
  SX リンク B での通信中は点減します。
- 4. EMERGENCY 表示灯 [EMERGENCY] (赤) 緊急一斉放送中(P. 8-9) または緊急放送中に点 灯します。 システム内のいずれかの SX-2000AO に非常断 24 V\*が発生したときに点滅します。
  - \* SX-2000 システムは、非常音声入力を制御する ための非常断 24 V入力端子を SX-2000AO 後面 に備えています。非常放送システムと組み合わ せて使用する場合、通常はこの端子に DC24 V を供給し、非常時に DC24 V入力を断つこと (非常断 24 V) により SX-2000 システムの業務 放送を停止して非常放送に切り換わります。 (詳しくは、別冊の設置説明書「設置のしかた」 「非常用システムとの組み合わせ」をお読みく ださい。)

- 5. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤) 緊急一斉放送中(CPUオフ状態)に点灯します。 ( II ☞ P. 8-9)
- STANDBY 表示灯 [STANDBY](黄) SX-2000 設定ソフトウェアによるシステムリ セットができなかったときに点灯します。 この表示灯が点灯した場合、ご使用のSX-2000SM はソフトウェアからの再起動ができな い仕様になっています。システムリセットをし たいときは、保護カバー内のリセットキー(15) を押して再起動してください。
- GENERAL表示灯 [GENERAL] (黄) 緊急一斉放送中(P. 8-9) またはSX-2000SMに 異常のあるときに点灯します。 システムに異常のあるときに点灯または点滅し ます。
- 8. CPU表示灯 [CPU] (黄) 緊急一斉放送中(P. 8-9)またはSX-2000SMに 異常のあるときに点灯します。
- SX LINK 表示灯 [SX LINK] (黄) 後面の SX リンク A/B 端子のどちらにも接続され ていないときに点滅します。

- 10. FAULT ACK キー [FAULT ACK] SX-2000 システム内で異常があるとき、ブザー が鳴る場合があります。このキーを押すことで、 ブザーを止めることができます。
- FAULT RESET キー [FAULT RESET]
  このキーを押すことで、SX-2000 システム全体の異常情報(ブザーおよび表示灯)が一旦リセットされます。
  操作方法のモードを DIP スイッチ4(19)で設定します。
- ランプテストキー [LAMP TEST]
  SX-2000SM 前面の各表示灯のテスト用キーです。
  このキーを押している間は、MODE と FAULTのすべての表示灯 (4) ~ (9) が点灯し、ブザーが鳴ります。
- **13. 電源表示灯 [POWER] (青)** 電源を入れると点灯します。
- **14. RUN 表示灯 [RUN] (緑)** 通常は点滅しています。 緊急一斉放送中(P. 8-9) は消灯します。
- **15. リセットキー[RESET]** このキーを押すと、SX-2000SM を再起動します。 SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO を含めシ ステム全体が再起動されます。

#### ご注意

- ●再起動すると、現在行われている放送は停止します。
- ●1秒以上押し続けないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、 リセットキーを押す時間が1秒以内になるように押し直してください。
- 16. USB 端子 [USB]

使用しません。

**17. CF カードアクセス表示灯**[ACCESS](緑) CF カードへの読み書き中に点滅します。

#### ご注意

点滅中は、CFカードの抜き差しやDIPスイッチ (19)の操作は行わないでください。 18. CF カードスロット [CF CARD] 設定データの運用、履歴データのカードへの書 き込みのときに、CF カードを挿入するスロット です。

※ 設定データの運用のしかた II P. 1-4 履歴データの取り込みかた II P. 1-5

#### ご注意

CFカードを抜き差しするためには、DIPスイッ チの設定が必要です。 DIPスイッチを正しく設定しないでCFカードを 抜き差しすると、設定データやCFカードが破損 する可能性があります。

#### 19. DIP スイッチ [SETTING]

- DIP スイッチ1 履歴データの取り込みを行います。 ( ■③ P. 1-5)
   ON : CF カードに履歴データが取り込まれ ます。
   OFF:通常は OFF で使用します。
- DIP スイッチ2 CFカードのアクセス設定を行います。 ( № P. 1-4)

ON :CF カードへのアクセスを停止します。 OFF:通常は OFF で使用します。

- DIP スイッチ3 SX-2000 設定ソフトウェアを使用してオンラ インで制御できるかどうかを設定します。
   ( ■ 別冊の設置説明書「設置のしかた」)
  - ON :オンラインでの設定データの書き込み とシステムリセットを禁止します。 OFF:通常はOFFで使用します。

#### ● DIP スイッチ4

FAULT RESET キー(11)で異常情報(ブ ザーおよび表示灯)をリセットするときの操 作方法を設定します。( IIS 別冊の設置説明書 「設置のしかた」) FAULT RESET キーによる操作と同様に、情 報入力端子(26)のRES 端子をここで設定さ れたタイミングで短絡することにより異常情 報をリセットすることができます。 ON :誤操作防止モードになります。 OFF:ワンタッチモードになります。 (各モードでの操作方法 IIS P.8-20)

- DIP スイッチ5~8 使用しません。
- ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ1~8はすべて OFF に設定されています。

# 設定データの運用のしかた (DIPスイッチ2を操作)

## ┃設定データの使いかた

SX-2000 システムは、SX-2000 設定ソフトウェアで設定したデータを CF カードに保存し、その CF カードを SX-2000SM に挿入して運用します。

ご注意 設定データの入った CF カードを、必ず CF カードスロットに挿入してお使いください。

# ■ CF カードの挿入のしかた

SX-2000SMにCFカードを挿入するときは、DIPスイッチの操作が必要です。手順は以下のとおりです。 ご注意 保護カバー内部のCFカードアクセス表示灯の点滅中は、DIPスイッチの操作は行わないでください。

## **1** SX-2000SM前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



2 CFカードアクセス表示灯が消灯していることを確認する。

**3** DIP スイッチ2を ON する。 ※ 工場出荷時は OFF に設定されています。



- **4** CFカードスロットに、設定データが保存されている CFカードを挿入する。 カードを挿入すると、ブザーが鳴ります。 手順5で DIP スイッチ2を OFF にすると、ブザーは停止します。
- 5 DIP Z T = 2 E OFF T = 3.
- 6 リセットキーを押す。

SX-2000 システムが再起動します。

ご注意 再起動すると、現在行われている放送は停止します。

7 保護カバーを元どおりに取り付ける。



# 履歴データの取り込み (DIPスイッチ1、2を操作)

SX-2000 システムの履歴を s2l 形式のデータとして CF カードに書き込み、SX-2000 設定ソフトウェアを搭載 したパソコンで表示して、Excelの CSV 形式のファイルとして出力させることができます。

履歴データには、すべてのログを含む動作履歴データと故障ログのみを含む故障履歴データがあります。 動作履歴データは Sx2kOp\*\*.s2l というファイル名、故障履歴データは Sx2kFa\*\*.s2l というファイル名が自動 的に付けられて CF カードに保存されます。\*\*の部分にはデータが保存された順に00~99までの数字が入り ます。100 個を超えて保存すると、古いデータから順に上書きされます。履歴の新旧はファイルの日付で判 断してください。

SX-2000SMの履歴データをCFカードに書き込む手順は、以下のとおりです。

#### ご注意

- ●履歴データをCFカードに書き込むときは、CFカードに十分な空き容量があることをご確認ください。 推奨する空き容量は15 MB以上です。
- ●保護カバー内部のCFカードアクセス表示灯の点滅中は、DIPスイッチの操作は行わないでください。
- SX-2000SM のメモリーにある履歴データは、SX-2000SM の再起動で消失します。履歴データを CF カード に書き込む場合は、再起動する前に行ってください。
- 履歴取り込みのために CF カードを SX-2000SM から外した場合でも、SX-2000SM 本体を再起動するまでは、 現在の設定データで動作します。

## **1** SX-2000SM前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



**4** DIP スイッチ2をON にする。

CF カードへのアクセスが停止し、CF カードを抜くことが できる状態になります。





5 CFカードスロットから CFカードを抜き取る。

6 設定用パソコンに CF カードを差し込み、SX-2000 設定ソフトウェアを起動する。 SX-2000 設定ソフトウェア上で履歴データを確認することができます。 詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書「ユーティリティ」をお読みください。

7 SX-2000SMのCFカードスロットに設定データが保存されているCFカードを差し込む。 カードを挿入すると、ブザーが鳴ります。 手順8でDIPスイッチ2をOFFにすると、ブザーは停止します。

8 DIPスイッチ2をOFFにする。

#### ご注意

設定データを変更した場合は、DIPスイッチ2をOFFにした後に 必ずリセットキーを押して再起動させてください。 再起動すると、現在行われている放送は停止します。

ON									
- ▲									
	1	2	3	4	5	6	7	8	

9 保護カバーを元どおりに取り付ける。

# 第2章

# 音声入力ユニット SX-2000AI

SX-2000 システムの音声入力ユニットです。

入力はモジュール式で、1台あたり2入力から8入力まで対応できます。

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる 2U サイズ\*のユニットで、機器は分散配置ができます。

音声出力ユニットSX-2000AOへは、通常動作時はデジタル伝送により音声を送出 しますが、システムの異常により通常放送ができなくなった場合は、アナログ伝送 路を使って音声を送出し、一斉放送(緊急一斉放送)を行うことができます。

電源入力は2系統を実装しており、停電時のバックアップ用電源を接続できます。 チャンネルごとのレベルメーターを備えており、音声の入力を確認できます。入力 音量は、前面の入力音量つまみで調節できます。ただし、つまみを時計方向いっぱ いに回したときの最大音量は、SX-2000設定ソフトウェアで設定された初期値にな ります。

また、内蔵スピーカーで任意の入力チャンネルをモニターすることができます。 誤操作を防ぐためのキーロック機能を備えており、入力音量つまみとチャンネル キーの操作を無効にすることができます。

\* 1Uサイズ = 44.5 mm(基準サイズ)

各部の名称とはたらき

[前面]



保護カバー内部



- モニタースピーカー 任意の入力チャンネルをモニターすることができ ます。
- 2. 機能キー [F1、F2、F3、F4] 各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアで割 り当てた機能が実行できます。 ( INT 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント 設定」)
- 3. 蛍光表示部

デフォルトでは機器番号とファームウェアのバー ジョンが表示されます。



現在の SX-2000AI の動作状態や入力レベルなどが 表示されます。( 📭 P. 2-4)

- メニューキー [MENU]
  このキーを押すと、蛍光表示部にメニュー画面が 表示されます。メニューのどの画面が表示されているときでも、このキーを押すと、デフォルト表示に戻ります。
- 5. キャンセルキー [ ◀/CANCEL] メニュー画面での移動に使用します。
- マイナスキー [-] メニュー画面での移動に使用します。 モニター ON/OFF キー(15)をONにしたときは、 マイナスキーを押して、モニターするチャンネル を選択します。チャンネル番号は、マイナスキー を押すごとに、大きい番号から順に小さい番号へ 移動します。
- プラスキー [+]
  メニュー画面での移動に使用します。
  モニター ON/OFF キー(15)をONにしたときは、
  プラスキーを押して、モニターするチャンネルを
  選択します。チャンネル番号は、プラスキーを押
  すごとに、小さい番号から順に大きい番号へ移動します。

- 8. OK キー [OK/▶]
  メニュー画面での移動に使用します。
- 9. 電源表示灯 [POWER] (青) 電源を入れると点灯します。
- CPU OFF 表示灯 [CPU OFF](赤)
  緊急一斉放送中(CPU オフ状態)に点灯します。
  ( 2 P. 8-9)
- STANDBY 表示灯 [STANDBY] (緑)
  電源投入時または再起動時の初期化中は点灯します。
  蛍光表示部が消灯モードで消灯している状態のときに点滅します。
- 12. 入力音量つまみ [INPUT 1~8]

各入力チャンネルの入力音量を調節できます。 反時計方向いっぱいに回すと、そのチャンネル の入力音源はミュートされ、蛍光表示部の入力 ON/OFF表示(28)が消灯します。 SX-2000設定ソフトウエアで入力チャンネルの 音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バ イパスされます。( ■③ 別冊のソフトウェア取扱 説明書「システム設定」)

13. チャンネルキー [ON/OFF]

各入力チャンネルをON/OFFします。押すたび にON/OFFが切り換わります。 SX-2000 設定ソフトウェアで機能を割り当てる こともできます。( ☞ 別冊のソフトウェア取扱 説明書「イベント設定」) SX-2000 設定ソフトウエアで入力チャンネルの 音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バ イパスされます。( ☞ 別冊のソフトウェア取扱 説明書「システム設定」)

**14. モニター音量つまみ [MONITOR]** モニタースピーカー(1)の音量を調節できます。

- **15. モニター ON/OFF キー [ON/OFF]** 選択した入力チャンネルの音声モニター機能を ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換 わります。
- **16. USB 端子**[USB] 使用しません。
- **17. RUN 表示灯(緑)** 常時、点滅しています。
- 18. IDスイッチ [ID NUMBER]
  SX-2000AIの機器番号を設定することができます。( ( ( ( ( ( ))
- **19. リセットキー [RESET]** このキーを押すと、SX-2000AIが再起動します。

#### ご注意

- ●再起動すると、一部のゾーンまたはシステム
  全体の放送が停止します。
- ●1秒以上押し続けないでください。本機が動作 しなくなります。動作しなくなったときは、 リセットキーを押す時間が1秒以内になるよ うに押し直してください。
- 20. DIP スイッチ[SETTING]
  - キーロックの設定を行います。( 📭 P. 2-6)
  - DIP スイッチ1
    ON :前面パネルの入力音量つまみとチャン ネルキーの操作を無効にします。
     OFF:キーロックを解除します。
  - DIP スイッチ2~8 使用しません。
  - ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ1~8はすべて OFF に設定されています。

#### [蛍光表示部]



- ※ SX-2000 設定ソフトウェアで蛍光表示部の消灯タイマーを設定することができます。(■③ ソフトウェア 取扱説明書「基本設定」) 消灯タイマーが設定されている場合、5分以上SX-2000AIの操作を行わなかったときに蛍光表示部がすべ て消灯し、STANDBY表示灯(11)が点減します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、 画面表示は復帰します。
- 21. テキスト表示部 各種機能キーを押すと、それぞれのメニュー画 面や情報が表示されます。
- **22. COM 表示** [COM] 通信異常時に点滅します。
- 23. FAULT 表示 [FAULT]

システム故障、構成異常\*、通信異常時に点滅し ます。異常状態が解消されるまで、点滅し続け ます。

- \* システム機器の構成またはモジュールの構成 が、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された 内容と異なるとき
- 24. 入力レベルメーター FADER表示 [FADER] 入力レベルメーターが SX-2000 設定ソフトウェ アまたは入力音量つまみで設定された音量を表 示しているときに点灯します。
- 25. 入力レベルメーター LEVEL 表示 [LEVEL] 入力レベルメーターが SX-2000AI に入力されて いるレベルを表示しているときに点灯します。
- 26. 入力レベルメーター目盛り
- 27. 入力選択表示 モニターする入力チャンネルが赤色に点灯しま す。

#### 28. 入力 ON/OFF 表示

チャンネルキーの状態を表示します。 チャンネルキーに割り当てられた機能により、 表示が異なります。

チャンネルキーの機能	ONのとき	OFF のとき
入力ON/OFF	点灯*	消灯
業務パターン放送の起動・終了	点滅	点灯

\* ただし、入力音量がミュートされているときは消灯。

#### 29. 入力レベルメーター

各入力チャンネルの実際に入力されているレベ ル、または設定された音量値を表示します。

#### **30. KEY LOCK 表示** [KEY LOCK] 入力音量つまみとチャンネルキーがロックされ ているときに点灯します。

(キーロックの設定と解除 LS P. 2-6)

**31. EMERGENCY 表示 [EMERGENCY]** SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯 します。

#### **32. リモートマイク放送状態表示** リモートマイク RM-200SA/210 からの放送中に 赤色に点灯します。

#### 33. リモートマイク接続状態表示 SX-2000AIに接続されているリモートマイクの 機器番号が点灯します。

- 34. モニターレベルメーター 現在モニターしている入力チャンネルの音量の 大きさを表示します。
- **35. モニターレベルメーター目盛り** モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯 します。
- **36. モニター ON/OFF 表示**[LEVEL] モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯 します。

# キーロックの設定と解除 (DIPスイッチ1を操作)

誤操作を防ぐため、入力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にすることができます。 キーロック中に操作した入力音量つまみの値は、キーロック解除後に有効になります。

#### ご注意

キーロックが解除されているときに SX-2000 システムが緊急放送状態になると、緊急音源を割り当てた入力 音量つまみの値は無効になり、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された値になります。

キーロック中は、SX-2000システムが緊急放送状態になっても、入力音量つまみで設定された値が有効になります。キーロックをするときは、緊急音源を割り当てた入力の音量も入力音量つまみで設定してください。



ロックできるつまみとキー

#### **1** SX-2000AI前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



2 DIPスイッチを設定する。

2-1 キーロックする場合

※ 工場出荷時の DIP スイッチ1 は OFF に設定されています。



#### 2-2 キーロックを解除する場合

DIP スイッチ1をOFF に設定します。 キーロックが解除されると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が消灯します。

キーロックされると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が点灯します。



3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

DIP スイッチ1をON に設定します。



SX-2000AIの前面パネルから、設定値の確認や変更をすることができます。

# ■メニュー画面操作に使用するキー



# ■ メニュー画面の階層図



# ■ メニュー画面の説明

● 情報表示(Al1)

#### 1-INFORMATION

メニュー項目=情報の表示画面です。

#### [エラー表示 (AI2)]

SX-2000SM 前面の FAULT 表示灯が点滅しているとき、SX-2000AI 蛍光表示部の FAULT 表示、COM 表示が 点滅しているときに、異常、故障の概要を確認できます。 次のような表示があります。



メモ

故障、異常の詳細は、SX-2000SMの履歴で確認できます。( 📭 P. 1-5)

● 動作状態表示(AI3)

#### 2-OPERATION STATUS

メニュー項目=動作状態の表示画面です。

[BGM パターン表示 (AI4)]

BGM PATTERN No.1

放送中の BGM パターン番号を表示します。

この画面のとき、蛍光表示画面の入力 ON/OFF 表示は以下のようになっています。



機能キー(F1~F4)の状態を表示します。
 機能キーに割り当てられた機能により、表示が異なります。

[設定音量表示(AI5)、設定音量詳細表示(AI6)]



SX-2000 設定ソフトウェアで設定した入力音量を入力レベルメーターに表示します。 設定音量詳細表示画面では、チャンネルごとの設定値を数値で確認することができます。 プラスキーを押すと、1つ番号の大きいチャンネルの設定値が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ番号の小さいチャンネルの設定値が表示されます。



[前面パネル音量表示(AI7)、前面パネル音量詳細表示(AI8)]



前面パネルの入力音量つまみで設定された入力音量を入力レベルメーターに表示します。 前面パネル音量詳細表示画面では、チャンネルごとの設定値を数値で確認することができます。 プラスキーを押すと、1つ番号の大きいチャンネルの設定値が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ番号の小さいチャンネルの設定値が表示されます。



[バス選択メニュー表示(AI9)、バス選択詳細表示(AI10)]



バスとは音声の通り道です。SX-2000 システムでは 16本のラインが準備されています。

放送中の入力音源がどのバスを通してSX-2000AOのいずれに出力されているかをバス選択詳細表示画面で表示します。

出力先が複数ある場合は、最初、一番小さい出力チャンネル番号のみ表示されますが、OK キーを押すと出力 先の表示を切り換えることができます。

プラスキーを押すと、1 つ番号の大きい入力チャンネルの放送状態が表示されます。

マイナスキーを押すと、1つ番号の小さい入力チャンネルの放送状態が表示されます。

放送の種類は、BGM 放送は「B」、業務放送または緊急放送は「P」と表示されます。

放送されていない入力チャンネルは、バス番号、SX-2000AOの機器番号・出力チャンネル、放送の種類の内 容は「ーーー」と表示されます。



●機器情報表示(AI11)

#### 3-UNIT STATUS

メニュー項目=機器情報の表示画面です。

[MACアドレスメニュー表示 (Al12)、MACアドレス表示 (Al13)]



SX-2000AIに設定されている MAC アドレス\*を MAC アドレス表示画面で表示します。 \* ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12桁の 16 進数で表現されています。

[スロット状態表示(Al14)、スロット状態詳細表示(Al15)]



スロット番号

SX-2000AI後面のスロット1~4にどのモジュールが装着されているかを表示します。 A~Dの記号はそれぞれ次のモジュールを表します。

- A : D-921F/E
- B : D-922F/E
- C: D-936R
- D: SX-200RM
- -:モジュールは装着されていません。

スロット状態詳細表示画面では、スロットごとに品番で表示します。モジュールが装着されていないときは BLANKと表示されます。

プラスキーを押すと、1つ大きいスロット番号の情報が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ小さいスロット番号の情報が表示されます。

[機器バージョン表示 (Al16)]

#### UNIT VER 3\_00\_000

SX-2000AIのファームウェアバージョンが表示されます。

[サブCPUバージョン表示 (AI17)]

SUB CPU VER 1.2

SX-2000AI前面パネルの操作・表示に関するソフトウェアバージョンが表示されます。

[SX-2000SMバージョン表示 (AI18)]

SX-2000SM VER. 3.00

SX-2000SMのファームウェアバージョンが表示されます。

SX-2000SMとの通信完了後に表示されます。それまでは、バージョン表示部には「VER. -.--」と表示されています。

[ハードウェアバージョン表示 (Al19)、ハードウェアバージョン詳細表示 (Al20)]



# 第3章

# 音声入力ユニット SX-2100AI

SX-2000 システムの音声入力ユニットです。

入力はモジュール式で、1台あたり2入力から8入力まで対応できます。

また、制御入力を16入力、制御出力を16出力、実装しています。

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる 2U サイズ\*のユニットで、機器は分散配置ができます。

音声出力ユニットSX-2000AOへは、通常動作時はデジタル伝送により音声を送出 しますが、システムの異常により通常放送ができなくなった場合は、アナログ伝送 路を使って音声を送出し、一斉放送(緊急一斉放送)を行うことができます。

電源入力は2系統を実装しており、停電時のバックアップ用電源を接続できます。 チャンネルごとのレベルメーターを備えており、音声の入力を確認できます。入力 音量は、前面の入力音量つまみで調節できます。ただし、つまみを時計方向いっぱ いに回したときの最大音量は、SX-2000設定ソフトウェアで設定された初期値にな ります。

また、内蔵スピーカーで任意の入力チャンネルをモニターすることができます。 誤操作を防ぐためのキーロック機能を備えており、入力音量つまみとチャンネル

キーの操作を無効にすることができます。

\* 1U サイズ = 44.5 mm(基準サイズ)

各部の名称とはたらき

[前面]



保護カバー内部



- モニタースピーカー 任意の入力チャンネルをモニターすることができ ます。
- 2. 機能キー [F1、F2、F3、F4] 各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアで割 り当てた機能が実行できます。 ( INT 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント 設定」)
- 3. 蛍光表示部

デフォルトでは機器番号とファームウェアのバー ジョンが表示されます。



現在の SX-2100AI の動作状態や入力レベルなどが 表示されます。( 📭 P. 3-4)

- メニューキー [MENU]
  このキーを押すと、蛍光表示部にメニュー画面が 表示されます。メニューのどの画面が表示されているときでも、このキーを押すと、デフォルト表示に戻ります。
- 5. キャンセルキー [ ◀/CANCEL] メニュー画面での移動に使用します。
- マイナスキー [-] メニュー画面での移動に使用します。 モニター ON/OFF キー(15)をONにしたときは、 マイナスキーを押して、モニターするチャンネル を選択します。チャンネル番号は、マイナスキー を押すごとに、大きい番号から順に小さい番号へ 移動します。
- プラスキー [+]
  メニュー画面での移動に使用します。
  モニター ON/OFF キー(15)をONにしたときは、
  プラスキーを押して、モニターするチャンネルを
  選択します。チャンネル番号は、プラスキーを押すごとに、小さい番号から順に大きい番号へ移動します。

- 8. OK キー [OK/▶]
  メニュー画面での移動に使用します。
- **9. 電源表示灯 [POWER] (青)** 電源を入れると点灯します。
- CPU OFF 表示灯 [CPU OFF](赤)
  緊急一斉放送中(CPU オフ状態)に点灯します。
  ( 2 P. 8-9)
- **11. STANDBY 表示灯 [STANDBY] (緑)** 電源投入時または再起動時の初期化中は点灯し ます。 蛍光表示部が消灯モードで消灯している状態の ときに点滅します。
- 12. 入力音量つまみ [INPUT 1~8]

各入力チャンネルの入力音量を調節できます。 反時計方向いっぱいに回すと、そのチャンネル の入力音源はミュートされ、蛍光表示部の入力 ON/OFF表示(28)が消灯します。 SX-2000設定ソフトウエアで入力チャンネルの 音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バ イパスされます。( INS 別冊のソフトウェア取扱 説明書「システム設定」)

13. チャンネルキー [ON/OFF]

各入力チャンネルをON/OFFします。押すたび にON/OFFが切り換わります。 SX-2000 設定ソフトウェアで機能を割り当てる こともできます。( ©중 別冊のソフトウェア取扱 説明書「イベント設定」) SX-2000 設定ソフトウエアで入力チャンネルの 音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バ イパスされます。( ©중 別冊のソフトウェア取扱 説明書「システム設定」)

**14. モニター音量つまみ [MONITOR]** モニタースピーカー(1)の音量を調節できます。

- モニターON/OFF キー [ON/OFF]
  選択した入力チャンネルの音声モニター機能を ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換 わります。
- **16. USB 端子**[USB] 使用しません。
- **17. RUN 表示灯(緑)** 常時、点滅しています。
- 18. IDスイッチ [ID NUMBER]
  SX-2100AIの機器番号を設定することができます。( ■
  第 別冊の設置説明書「設置のしかた」)
- **19. リセットキー [RESET]** このキーを押すと、SX-2100AIが再起動します。

#### ご注意

- ●再起動すると、一部のゾーンまたはシステム
  全体の放送が停止します。
- ●1秒以上押し続けないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、 リセットキーを押す時間が1秒以内になるように押し直してください。

#### 20. DIP スイッチ[SETTING]

- キーロックの設定を行います。( 📭 P. 3-6)
- DIP スイッチ1
  ON :前面パネルの入力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にします。
  OFF:キーロックを解除します。
- DIP スイッチ2~8 使用しません。
- ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ1~8はすべて OFF に設定されています。

#### [蛍光表示部]



- ※ SX-2000 設定ソフトウェアで蛍光表示部の消灯タイマーを設定することができます。( マントウェア 取扱説明書「基本設定」) 消灯タイマーが設定されている場合、5分以上SX-2100AIの操作を行わなかったときに蛍光表示部がすべ て消灯し、STANDBY表示灯(11)が点滅します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、 画面表示は復帰します。
- 21. テキスト表示部 各種機能キーを押すと、それぞれのメニュー画 面や情報が表示されます。
- 22. COM 表示 [COM]
  通信異常時に点滅します。
- 23. FAULT表示 [FAULT]
  - システム故障、構成異常\*、通信異常時に点滅し ます。異常状態が解消されるまで、点滅し続け ます。

\* システム機器の構成またはモジュールの構成 が、SX-2000設定ソフトウェアで設定された 内容と異なるとき

- 24. 入力レベルメーター FADER 表示 [FADER] 入力レベルメーターが SX-2000 設定ソフトウェ アまたは入力音量つまみで設定された音量を表 示しているときに点灯します。
- 25. 入力レベルメーター LEVEL 表示 [LEVEL] 入力レベルメーターが SX-2100AI に入力されて いるレベルを表示しているときに点灯します。
- 26. 入力レベルメーター目盛り
- 27. 入力選択表示 モニターする入力チャンネルが赤色に点灯しま す。

#### 28. 入力 ON/OFF 表示

チャンネルキーの状態を表示します。 チャンネルキーに割り当てられた機能により、 表示が異なります。

チャンネルキーの機能	ONのとき	OFF のとき
入力ON/OFF	点灯*	消灯
業務パターン放送の起動・終了	点滅	点灯

\* ただし、入力音量がミュートされているときは消灯。

- 29. 入力レベルメーター 各入力チャンネルの実際に入力されているレベ ル、または設定された音量値を表示します。
- 30. KEY LOCK 表示 [KEY LOCK] 入力音量つまみとチャンネルキーがロックされ ているときに点灯します。 (キーロックの設定と解除 ☞ P. 3-6)
- **31. EMERGENCY 表示 [EMERGENCY]** SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯 します。
- **32. リモートマイク放送状態表示** リモートマイク RM-200SA/210 からの放送中に 赤色に点灯します。
- 33. リモートマイク接続状態表示 SX-2100AIに接続されているリモートマイクの 機器番号が点灯します。

- 34. モニターレベルメーター 現在モニターしている入力チャンネルの音量の 大きさを表示します。
- **35. モニターレベルメーター目盛り** モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯 します。
- **36. モニター ON/OFF 表示**[LEVEL] モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯 します。

# キーロックの設定と解除 (DIPスイッチ1を操作)

誤操作を防ぐため、入力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にすることができます。 キーロック中に操作した入力音量つまみの値は、キーロック解除後に有効になります。

#### ご注意

キーロックが解除されているときに SX-2000 システムが緊急放送状態になると、緊急音源を割り当てた入力 音量つまみの値は無効になり、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された値になります。

キーロック中は、SX-2000システムが緊急放送状態になっても、入力音量つまみで設定された値が有効になります。キーロックをするときは、緊急音源を割り当てた入力の音量も入力音量つまみで設定してください。



ロックできるつまみとキー

### **7** SX-2100AI前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



2 DIPスイッチを設定する。

2-1 キーロックする場合

※ 工場出荷時の DIP スイッチ1 は OFF に設定されています。



#### 2-2 キーロックを解除する場合

DIP スイッチ1をOFF に設定します。 キーロックが解除されると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が消灯します。

キーロックされると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が点灯します。



3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

DIP スイッチ1をON に設定します。



SX-2100AIの前面パネルから、設定値の確認や変更をすることができます。

# ■メニュー画面操作に使用するキー



# ■ メニュー画面の階層図



# ■ メニュー画面の説明

● 情報表示(ai1)

#### 1-INFORMATION

メニュー項目=情報の表示画面です。

#### [エラー表示 (ai2)]

SX-2000SM前面のFAULT表示灯が点滅しているとき、SX-2100AI 蛍光表示部のFAULT表示、COM表示が 点滅しているときに、異常、故障の概要を確認できます。 次のような表示があります。



メモ

故障、異常の詳細は、SX-2000SMの履歴で確認できます。( LS P. 1-5)

● 動作状態表示(ai3)

2-OPERATION STATUS

メニュー項目=動作状態の表示画面です。

[BGM パターン表示 (ai4)]

BGM PATTERN No.1

放送中の BGM パターン番号を表示します。

この画面のとき、蛍光表示画面の入力 ON/OFF 表示は以下のようになっています。



[設定音量表示(ai5)、設定音量詳細表示(ai6)]



SX-2000 設定ソフトウェアで設定した入力音量を入力レベルメーターに表示します。 設定音量詳細表示画面では、チャンネルごとの設定値を数値で確認することができます。 プラスキーを押すと、1つ番号の大きいチャンネルの設定値が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ番号の小さいチャンネルの設定値が表示されます。


[前面パネル音量表示(ai7)、前面パネル音量詳細表示(ai8)]



前面パネルの入力音量つまみで設定された入力音量を入力レベルメーターに表示します。 前面パネル音量詳細表示画面では、チャンネルごとの設定値を数値で確認することができます。 プラスキーを押すと、1つ番号の大きいチャンネルの設定値が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ番号の小さいチャンネルの設定値が表示されます。

これらの画面のとき、蛍光表示画面全体の表示は以下のようになっています。



[バス選択メニュー表示 (ai9)、バス選択詳細表示 (ai10)]



バスとは音声の通り道です。SX-2000 システムでは 16本のラインが準備されています。 放送中の入力音源がどのバスを通して SX-2000AO のいずれに出力されているかをバス選択詳細表示画面で表 示します。

出力先が複数ある場合は、最初、一番小さい出力チャンネル番号のみ表示されますが、OK キーを押すと出力 先の表示を切り換えることができます。

プラスキーを押すと、1つ番号の大きい入力チャンネルの放送状態が表示されます。

マイナスキーを押すと、1つ番号の小さい入力チャンネルの放送状態が表示されます。

放送の種類は、BGM 放送は「B」、業務放送または緊急放送は「P」と表示されます。

放送されていない入力チャンネルは、バス番号、SX-2000AOの機器番号・出力チャンネル、放送の種類の内容は「---」と表示されます。

これらの画面のとき、蛍光表示画面全体の表示は以下のようになっています。



[制御入力状態表示(ai11)、制御入力詳細表示(ai12)]



現在の制御入力の状態を表示します。

制御入力がONのときは「o」、OFFのときは「-」 が表示されます。

制御入力詳細画面では、プラスキーまたはマイナス キーを押すことで、制御入力1~8と9~16の表示 を切り換えることができます。

制御入力番号と画面表示とは右表のように対応して います。

制御入力番号	画面表示	制御入力番号	画面表示
1	1	9	9
2	2	10	0
3	3	11	Α
4	4	12	В
5	5	13	С
6	6	14	D
7	7	15	E
8	8	16	F

### [制御出力状態表示(ai13)、制御出力詳細表示(ai14)]



現在の制御出力の状態を表示します。

制御出力がONのときは「o」、OFFのときは「-」 が表示されます。

制御出力詳細画面では、プラスキーまたはマイナス キーを押すことで、制御出力1~8と9~16の表示 を切り換えることができます。

制御出力番号と画面表示とは右表のように対応して います。

制御出力番号	画面表示	制御出力番号	画面表示
1	1	9	9
2	2	10	0
3	3	11	А
4	4	12	В
5	5	13	С
6	6	14	D
7	7	15	E
8	8	16	F

● 機器情報表示(ai15)

### 3-UNIT STATUS

メニュー項目=機器情報の表示画面です。

[MACアドレスメニュー表示 (ai16)、MACアドレス表示 (ai17)]



SX-2100AIに設定されている MAC アドレス\*を MAC アドレス表示画面で表示します。 \* ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12桁の 16 進数で表現されています。

[スロット状態表示(ai18)、スロット状態詳細表示(ai19)]



SX-2100AI後面のスロット1~4にどのモジュールが装着されているかを表示します。 A~Dの記号はそれぞれ次のモジュールを表します。

- A : D-921F/E
- B : D-922F/E
- C: D-936R
- D: SX-200RM
- -:モジュールは装着されていません。

スロット状態詳細表示画面では、スロットごとに品番で表示します。モジュールが装着されていないときは BLANKと表示されます。

プラスキーを押すと、1つ大きいスロット番号の情報が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ小さいスロット番号の情報が表示されます。

[機器バージョン表示 (ai20)]

### UNIT VER. 3\_00\_000

SX-2100AIのファームウェアバージョンが表示されます。

[サブ CPU バージョン表示 (ai21)]

SUB CPU VER. 1.2

SX-2100AI前面パネルの操作・表示に関するソフトウェアバージョンが表示されます。

[SX-2000SMバージョン表示 (ai22)]

SX-2000SM VER. 3.00

SX-2000SMのファームウェアバージョンが表示されます。

SX-2000SMとの通信完了後に表示されます。それまでは、バージョン表示部には「VER. -.--」と表示されています。

[ハードウェアバージョン表示 (ai23)、ハードウェアバージョン詳細表示 (ai24)]



第4章

# 音声出力ユニット SX-2000AO

SX-2000 システムの音声出力ユニットです。1台で8音声出力を実装しています。 また、制御入力を8入力、制御出力を8出力、実装しています。このほかに、制御 入力ユニットSX-2000CIと制御出力ユニットをSX-2000COを1台ずつ接続するこ とができ、システムの制御入出力数を拡張することができます。

非常音声入力および非常断 24 V入力\*1を実装しており、非常放送システムとの連携が可能です。

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる 2U サイズ\*<sup>2</sup>のユニットで、 機器は分散配置ができます。

2入力をミキシングして出力することができます。

音声入力ユニットSX-2000AIまたはSX-2100AIからは、通常動作時はデジタル伝送 により音声を受信しますが、システムの異常により通常放送ができなくなった場合 は、アナログ伝送路を使って音声を受信し、一斉放送(緊急一斉放送)を行うこと ができます。

電源入力は2系統を実装しており、停電時のバックアップ用電源を接続できます。 チャンネルごとのレベルメーターを備えており、音声の出力を確認できます。出力 音量は、前面の出力音量つまみで調節できます。ただし、つまみを時計方向いっぱ いに回したときの最大音量は、SX-2000設定ソフトウェアで設定された初期値にな ります。

また、内蔵スピーカーで任意の出力チャンネルをモニターすることができます。 誤操作を防ぐためのキーロック機能を備えており、出力音量つまみとチャンネル キーの操作を無効にすることができます。

- \*1 SX-2000AOは、非常音声入力を制御するための非常断24 V入力端子を後面に 備えています。SX-2000システムを非常放送システムと組み合わせて使用する 場合、通常はこの端子にDC24 Vを供給し、非常時にDC24 V入力を断つこと (非常断24 V)によりSX-2000システムの業務放送を停止して非常放送に切り 換わります。(詳しくは別冊の設置説明書「設置のしかた」「非常用システムと の組み合わせ」をお読みください。)
- \*<sup>2</sup> 1Uサイズ = 44.5 mm (基準サイズ)

各部の名称とはたらき

[前面]



保護カバー内部



- モニタースピーカー 任意の出力チャンネルをモニターすることができ ます。
- 2. 機能キー [F1、F2、F3、F4] 各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアで割 り当てた機能が実行できます。 ( INS 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント 設定」)
- 3. 蛍光表示部
  - デフォルトでは機器番号とファームウェアのバー ジョンが表示されます。



現在の SX-2000AO の動作状態や出力レベルなど が表示されます。( 📭 P. 4-4)

- メニューキー [MENU]
   このキーを押すと、蛍光表示部にメニュー画面が 表示されます。メニューのどの画面が表示されているときでも、このキーを押すと、デフォルト表示に戻ります。
- 5. キャンセルキー [ ◀/CANCEL] メニュー画面での移動に使用します。
- マイナスキー [-]
   メニュー画面での移動に使用します。
   モニターON/OFFキー(15)をONにしたときは、
   マイナスキーを押して、モニターするチャンネル
   を選択します。チャンネル番号は、マイナスキー
   を押すごとに、大きい番号から順に小さい番号へ
   移動します。
- プラスキー [+]
   メニュー画面での移動に使用します。
   モニター ON/OFF キー(15)をONにしたときは、
   プラスキーを押して、モニターするチャンネルを
   選択します。チャンネル番号は、プラスキーを押
   すごとに、小さい番号から順に大きい番号へ移動します。

- 8. OK キー [OK/▶]
   メニュー画面での移動に使用します。
- **9. 電源表示灯 [POWER] (青)** 電源を入れると点灯します。
- CPU OFF 表示灯 [CPU OFF](赤)
   緊急一斉放送中(CPU オフ状態)に点灯します。
   ( ② P. 8-9)
- **11. STANDBY 表示灯 [STANDBY] (緑)** 電源投入時または再起動時の初期化中は点灯し ます。 蛍光表示部が消灯モードで消灯している状態の ときに点滅します。
- 12. 出力音量つまみ [OUTPUT 1~8]

各出力チャンネルの出力音量を調節できます。 反時計方向いっぱいに回すと、そのチャンネル の出力音量はミュートされ、蛍光表示部の出力 ON/OFF表示(28)が消灯します。 緊急放送されている出力チャンネルは、バイパ スされます。

- チャンネルキー [ON/OFF]
   各出力チャンネルをON/OFF します。押すたび にON/OFF が切り換わります。
   SX-2000 設定ソフトウェアで機能を割り当てる こともできます。( ■ 別冊のソフトウェア取扱 説明書「イベント設定」)
   緊急放送されている出力チャンネルは、バイパ スされます。
- **14. モニター音量つまみ [MONITOR]** モニタースピーカー (1) の音量を調節できます。
- モニター ON/OFF キー [ON/OFF]
   選択した出力チャンネルの音声モニター機能を ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換 わります。

- **16. USB 端子**[USB] 使用しません。
- **17. RUN 表示灯** [RUN] (緑) 常時、点滅しています。
- 18. ID スイッチ [ID NUMBER]
   SX-2000AO の機器番号を設定することができます。( ■愛 別冊の設置説明書「設置のしかた」)
- **19. リセットキー [RESET]** このキーを押すと、SX-2000AOが再起動します。

ご注意

- 再起動すると、現在そのSX-2000AOを使って 行われている放送は停止します。
- ●1秒以上押し続けないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、リセットキーを押す時間が1秒以内になるように押し直してください。

### 20. DIP スイッチ [SETTING]

- DIP スイッチ1 キーロックの設定を行います。(■③ P. 4-6) ON :前面パネルの出力音量つまみとチャン ネルキーの操作を無効にします。
   OFF:キーロックを解除します。
- DIP スイッチ2~7 使用しません。
- DIP スイッチ8 後面の非常断 24 V入力端子を使用するかしないかの設定を行います。( NPT 別冊の設置説明 書「設置のしかた」)
- ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ1~8 はすべて OFF に設定されています。

### [蛍光表示部]



- ※ SX-2000 設定ソフトウェアで蛍光表示部の消灯タイマーを設定することができます。( マンフトウェア 取扱説明書「基本設定」) 消灯タイマーが設定されている場合、5分以上 SX-2000AOの操作を行わなかったときに蛍光表示部がすべ て消灯し、STANDBY表示灯(11)が点滅します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、 画面表示は復帰します。
- 21. テキスト表示部 各種機能キーを押すと、それぞれのメニュー画 面や情報が表示されます。
- 22. COM 表示 [COM]
   通信異常時に点滅します。

### 23. FAULT表示 [FAULT]

システム故障、構成異常\*1、通信異常時に点滅 します。異常状態が解消されるまで、点滅し続 けます。

- \*1 システム機器の構成またはモジュールの構成 が、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された 内容と異なるとき
- 24. 出力レベルメーター FADER表示 [FADER] 出力レベルメーターが SX-2000 設定ソフトウェ アまたは出力音量つまみで設定された音量を表 示しているときに点灯します。
- 25. 出力レベルメーター LEVEL 表示 [LEVEL] 出力レベルメーターが SX-2000AO から出力され ているレベルを表示しているときに点灯します。

26. 出力レベルメーター目盛り

27. 出力選択表示 モニターする出力チャンネルが赤色に点灯します。

### 28. 出力 ON/OFF 表示

チャンネルキーの状態を表示します。 チャンネルキーに割り当てられた機能により、 表示が異なります。

チャンネルキーの機能	ONのとき	OFF のとき
出力 ON/OFF	点灯*	消灯
業務パターン放送の起動・終了	点滅	点灯

\* ただし、出力音量がミュートされているときは消灯。

29. 出力レベルメーター

各出力チャンネルの実際に出力されているレベ ル、または設定された音量値を表示します。

- 30. EMERGENCY 表示 [EMERGENCY]
   SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯します。
   非常断24 V入力\*<sup>2</sup>を使用している場合、非常断24 Vが発生したときに点滅します。
  - \*2 SX-2000AOは、非常音声入力を制御するため の非常断24 V入力端子を後面に備えています。 SX-2000 システムを非常放送システムと組み 合わせて使用する場合、通常はこの端子に DC24 Vを供給し、非常時にDC24 V入力を断 つこと(非常断24 V)によりSX-2000 システム の業務放送を停止します。(詳しくは、別冊の 設置説明書「設置のしかた」「非常用システム との組み合わせ」をお読みください。)

#### ご注意

保護カバー内部の DIP スイッチ8 で非常断 24 V 入力端子を使用しない設定にした場合、非常断 24 V入力に24 Vが切れても、EMERGENCY表 示は点滅しません。

31. KEY LOCK 表示 [KEY LOCK]

出力音量つまみとチャンネルキーがロックされているときに点灯します。 (キーロックの設定と解除 ■ P.4-6)

- **32. 制御入力ユニット接続状態表示[1]** SX-2000AOにSX-2000CIが接続されていると きに点灯します。
- **33. 制御出力ユニット接続状態表示[2]** SX-2000AOにSX-2000COが接続されていると きに点灯します。
- 34. モニターレベルメーター 現在モニターしている出力チャンネルの音量の 大きさを表示します。
- **35. モニターレベルメーター目盛り** モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯 します。
- **36. モニター ON/OFF 表示**[LEVEL] モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯 します。

# キーロックの設定と解除 (DIPスイッチ1を操作)

誤操作を防ぐため、出力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にすることができます。 キーロック中に操作した出力音量つまみの値は、キーロック解除後に有効になります。

### ご注意

キーロックが解除されているときに SX-2000 システムが緊急放送状態になると、緊急音源が放送されている ゾーンの出力音量つまみの値は無効になり、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された値になります。 キーロック中は、SX-2000 システムが緊急放送状態になっても、出力音量つまみで設定された値が有効にな ります。キーロックをするときは、緊急音源が放送されているゾーンの音量も出力音量つまみで設定してく ださい。



ロックできるつまみとキー

**1** SX-2000AO前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



# **2** DIPスイッチを設定する。

2-1 キーロックする場合

※ 工場出荷時の DIP スイッチ1 は OFF に設定されています。



### 2-2 キーロックを解除する場合

DIP スイッチ1をOFF に設定します。 キーロックが解除されると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が消灯します。

キーロックされると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が点灯します。



3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

DIP スイッチ1をON に設定します。



SX-2000AOの前面パネルから、設定値の確認や変更をすることができます。

# ■ メニュー画面操作に使用するキー

(	
PANEL VOLUM	E >
	下層メニューがあるときに
赤字で表記しているのは、 階層図では、表示の一例を	するシューンののなどでに 表示されます。 可変部分です。 示しています。
メニュー画面で使用するキー	
MENU	
	<b>OK キー</b> 1 つ下の階層に移動するときに押します。
	<b>プラスキー</b> 同じ階層で次の項目に移動するときに押します。
	<b>マイナスキー</b> 同じ階層で前の項目に移動するときに押します。
	<b>キャンセルキー</b> 1 つ上の階層に移動するときに押します。
L	<b>メニューキー</b> デフォルト表示のとき、このキーを押すと、蛍光表示部に メニュー画面が表示されます。 メニューのどの画面が表示されているときでも、このキー を押すと、デフォルト表示に戻ります。

# ■メニュー画面の階層図



## ■ メニュー画面の説明

● 情報表示(AO1)

### 1-INFORMATION

メニュー項目=情報の表示画面です。

### [エラー表示 (AO2)]

SX-2000SM 前面の FAULT 表示灯が点滅しているとき、SX-2000AO 蛍光表示部の FAULT 表示、COM 表示が 点滅しているときに、異常、故障の概要を確認できます。 次のような表示があります。



メモ

故障、異常の詳細は、SX-2000SMの履歴で確認できます。( 📭 P. 1-5)

● 動作状態表示(AO3)

### 2-OPERATION STATUS

メニュー項目=動作状態の表示画面です。

[BGM パターン表示 (AO4)]

BGM PATTERN No.16

放送中の BGM パターン番号を表示します。

この画面のとき、蛍光表示画面の出力 ON/OFF 表示は以下のようになっています。



機能キー(F1~F4)の状態を表示します。
 機能キーに割り当てられた機能により、表示が異なります。

[設定音量表示(AO5)、設定音量詳細表示(AO6)]



SX-2000 設定ソフトウェアで設定した出力音量を出力レベルメーターに表示します。 設定音量詳細表示画面では、チャンネルごとの設定値を数値で確認することができます。 プラスキーを押すと、1つ番号の大きいチャンネルの設定値が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ番号の小さいチャンネルの設定値が表示されます。

これらの画面のとき、蛍光表示画面全体の表示は以下のようになっています。



[前面パネル音量表示(AO7)、前面パネル音量詳細表示(AO8)]



前面パネルの出力音量つまみで設定された出力音量を出力レベルメーターに表示します。 前面パネル音量詳細表示画面では、チャンネルごとの設定値を数値で確認することができます。 プラスキーを押すと、1つ番号の大きいチャンネルの設定値が表示されます。 マイナスキーを押すと、1つ番号の小さいチャンネルの設定値が表示されます。

これらの画面のとき、蛍光表示画面全体の表示は以下のようになっています。



[バス選択メニュー表示 (AO9)、バス選択詳細表示 (AO10)]



バスとは音声の通り道です。SX-2000システムでは16本のラインが準備されています。

SX-2000AOの出力チャンネルに、どの入力音源が、どのバスを通って出力されているかをバス選択詳細表示 画面で表示します。

プラスキーを押すと、1つ番号の大きい出力チャンネルの放送状態が表示されます。

マイナスキーを押すと、1 つ番号の小さい出力チャンネルの放送状態が表示されます。

放送の種類は、BGM放送は「B」、業務放送または緊急放送は「P」と表示されます。OKキーを押すと、現 在表示されている出力チャンネルの「B」と「P」の内容を切り換えて表示できます。

放送されていない出力チャンネルのSX-2000AI/2100AIの機器番号・入力チャンネル、バス番号の内容は、 「ーーー」と表示されます。



※ 緊急放送中のゾーンに BGM 放送を行うことはできません。 そのため、緊急放送中のバス選択詳細表示は、上記のように 「---」が表示されます。



これらの画面のとき、蛍光表示画面全体の表示は以下のようになっています。



[制御入力状態表示(AO11)、制御入力詳細表示(AO12)]



現在の制御入力の状態を表示します。

制御入力がONのときは「o」、OFFのときは「-」が表示されます。

[制御出力状態表示(AO13)、制御出力状態表示(AO14)]



現在の制御出力の状態を表示します。

制御出力がONのときは「o」、OFFのときは「-」が表示されます。

● 機器情報表示(AO15)

### 3-UNIT STATUS

メニュー項目=機器情報の表示画面です。

[MACアドレスメニュー表示 (AO16)、MACアドレス表示 (AO17)]



SX-2000AOに設定されている MAC アドレス\*を MAC アドレス表示画面で表示します。 \* ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12桁の 16 進数で表現されています。

[機器バージョン表示 (AO18)]

UNIT VER. 3\_00\_000

SX-2000AOのファームウェアバージョンが表示されます。

[サブCPUバージョン表示 (AO19)]

SUB CPU VER. 1.2

SX-2000AOの前面パネルの操作・表示に関するソフトウェアバージョンが表示されます。

[SX-2000SMバージョン表示 (AO20)]

SX-2000SM VER. 3.00

SX-2000SMのファームウェアバージョンが表示されます。 SX-2000SMとの通信完了後に表示されます。それまでは、バージョン表示部には「VER. -.--」と表示され ています。 [ハードウェアバージョン表示 (AO21)、ハードウェアバージョン詳細表示 (AO22)]



SX-2000AOを構成する各基板のハードウェアバージョンを表示します。

ハードウェアバージョン詳細画面では、プラスキーまたはマイナスキーを押すことで、表示を切り換えることができます。

- PCB CPU : CPU 基板のバージョンを表示します。
- PCB FRONT :フロント基板のバージョンを表示します。
- PCB POWER:電源基板のバージョンを表示します。
- PCB LINK :リンク基板のバージョンを表示します。

# 第5章

# 制御入力ユニット SX-2000CI

制御入力ユニットSX-2000CIは32系統の制御入力を持ち、外部機器と接続することでさまざまな動作を行うことができます。

すべての制御入力に故障検知機能を設定することができます。

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる1Uサイズ\*のユニットです。 電源入力は2系統を実装しており、停電時のバックアップ用電源を接続できます。

\* 1U サイズ = 44.5 mm (基準サイズ)

/ 各部の名称とはたらき

[前面]





- **1. 制御入力表示灯 [CONTROL INPUT 1 ~ 32]** (緑) 制御入力がONのときに点灯します。
- **2. 電源表示灯 [POWER] (青)** 電源を入れると点灯します。
- CPU OFF 表示灯 [CPU OFF](赤)
   緊急一斉放送中(CPUオフ状態)に点灯します。
   ( 1237 P. 8-9)
- FAULT表示灯 [FAULT](黄)
   緊急一斉放送中(P.8-9)または接続先のSX-2000AOとの通信で5秒以上通信が途絶えたとき に点灯します。
   システムに異常のあるときに点滅します。
- 5. USB 端子 [USB] 使用しません。

- RUN 表示灯 [RUN] (緑)
   常時、点滅しています。
   緊急一斉放送中(P. 8-9) は消灯します。
- 7. IDスイッチ [ID NUMBER]
   使用しません。常時、「0」に設定しておいてください。
   ※ 工場出荷時は「0」に設定されています。
- 8. リセットキー [RESET] このキーを押すと、SX-2000CIが再起動します。
- **9. DIP スイッチ [SETTING]** 使用しません。
  - ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ1~8はすべて OFFに設定されています。

# 第6章

# 制御出力ユニット SX-2000CO

制御出力ユニットSX-2000COは32系統の制御出力を持ち、外部機器と接続することでさまざまな動作を行うことができます。

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる1Uサイズ\*のユニットです。 電源入力は2系統を実装しており、停電時のバックアップ用電源を接続できます。

\* 1Uサイズ = 44.5 mm(基準サイズ)

🖉 各部の名称とはたらき

[前面]



- 制御出力表示灯
   [CONTROL OUTPUT 1 ~ 32](緑)
   制御出力がONのときに点灯します。
   工場出荷時の設定では、緊急一斉放送時には制御
   出力がOFFになり表示灯は消灯します。機器内
   部のDIPスイッチの設定を変更することにより、
   緊急一斉放送時に制御出力をONにして表示灯を
   点灯させることができます。(■③ 別冊の設置説
   明書「設置のしかた」)
- **2. 電源表示灯 [POWER] (青)** 電源を入れると点灯します。
- 3. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF](赤) 緊急一斉放送中(CPUオフ状態)に点灯します。 ( LI ② P. 8-9)
- FAULT表示灯 [FAULT](黄)
   緊急一斉放送中(P. 8-9)または接続先のSX-2000AOとの通信で5秒以上通信が途絶えたとき に点灯します。
   システムに異常のあるときに点滅します。

- 5. USB端子 [USB] 使用しません。
- RUN 表示灯 [RUN] (緑)
   常時、点滅しています。
   緊急一斉放送中(P.8-9)は消灯します。
- 7. IDスイッチ [ID NUMBER]
   使用しません。常時、「1」に設定しておいてください。
   ※ 工場出荷時は「1」に設定されています。
- 8. リセットキー [RESET] このキーを押すと、SX-2000CO が再起動します。
- **9. DIP スイッチ [SETTING]** 使用しません。
  - ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ1~8はすべて OFFに設定されています。

# 第7章

# リモートマイク RM-200SA

# リモートマイク 拡張ユニット RM-210

リモートマイクRM-200SAは、機能キー13個、カバー付きキー1個、トークキー1 個、およびそれぞれに連動した表示灯を持つリモートマイクです。機能キーへの割 り当てはSX-2000設定ソフトウェアで設定します。 RM-200SAにリモートマイク拡張ユニットRM-210を接続すると、機能キーおよび 表示灯を10単位で増設できます。RM-210は4台まで増設できます。



## RM-200SA

[上面]



- **1. マイク** マイク放送時に使用します。
- 2. 電源表示灯(緑)
   電源を入れると点灯します。
- 3. 異常表示灯(橙/赤)

システム内で何らかの故障が検知された場合、橙 色に点滅します。 接続先のSX-2000AIまたはSX-2100AIとの通信で 5秒以上通信が途絶えた場合、橙色に点灯します。 緊急一斉放送中(P.8-9)およびRM-200SAのリ セット中は赤色に点灯します。

4. 緊急表示灯(赤)

SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯します。

5. 緊急放送/緊急一斉放送キー(カバー付き) SX-2000 設定ソフトウェアで緊急放送パターン起動の機能が割り当てられているとき、このキーを 押すと、SX-2000 システムによる緊急放送を起動します。 また、SX-2000 設定ソフトウェアでの設定とは関係なく、DIPスイッチ(14)の設定と組み合わせて、このキーを4秒以上押し続けると、緊急一斉放送ができます。(■③ P. 8-9)

### 表示ラベル挿入部 表示ラベルを挿入するスペースです。 SX-2000 設定ソフトウェアを使用して、ラベルを 印刷できます。( ■ 別冊のソフトウェア取扱説 明書「リモートマイクの表示ラベルを印刷する」)

7. 状態表示灯(橙/緑/赤)
 機能キーの操作状態に連動して点灯、点滅、消灯します。(■〒 P. 7-5)

- 3. 選択表示灯(緑) 機能キーの操作状態に連動して点灯、消灯しま す。( IST P. 7-5)
- 9. 機能キー(R1~R10) 上から順にR1、R2、……、R10となっていま す。各キーを押すと、SX-2000設定ソフトウェ アでそのキーに設定した機能が実行できます。 機能の割り当ては、SX-2000設定ソフトウェア で行います。(INT 別冊のソフトウェア取扱説明 書「イベント設定」)
- 10. トークキー

マイク放送時に使用します。 PTT式に設定されているときは、キーを押して いる間だけ放送することができます。 ロック式に設定されているときは、押すと放送 が開始され、もう一度押すと放送が終了します。 放送開始・終了時のチャイムが設定されている ときは、設定に従ってチャイム音が流れます。 操作の方式およびチャイムの設定はSX-2000 設 定ソフトウェアで行います。( ■③ 別冊のソフト ウェア取扱説明書「システム設定」)

### 第7章 リモートマイクRM-200SA リモートマイク拡張ユニットRM-210

- 11. 機能キー(L1 ~ L3)
   上から順にL1、L2、L3となっています。
   このキーの動作は機能キー(R1~R10)(9)と
   同じです。
- 12. 放送状態表示灯(橙/緑) トークキーの操作状態に連動して点灯、点滅、 消灯します。
- 13. マイク表示灯(緑)

トークキーの操作状態に連動して点灯、消灯し ます。 チャイム起動中に点滅します。

[側面]



14. DIP スイッチ

機器番号の設定、CPUオフ機能(緊急一斉放送)の
 ON/OFFなどを行います。
 (緊急一斉放送のしかた IN P. 8-9、
 DIPスイッチの設定のしかた IN 別冊の設置説明書
 「設置のしかた」)

**15. RM-210 接続端子 [EXTENSION]** リモートマイク拡張ユニット RM-210 と接続します。 RM-210

[上面]



#### 1. 表示ラベル挿入部

表示ラベルを挿入するスペースです。 SX-2000 設定ソフトウェアを使用して、ラベルを印刷でき ます。( ■③ 別冊のソフトウェア取扱説明書「リモートマ イクの表示ラベルを印刷する」)

- 2. 状態表示灯(橙/緑/赤) 機能キーの操作状態に連動して点灯、点滅、消灯します。
- 3. 選択表示灯(緑) 機能キーの操作状態に連動して点灯、消灯します。
- 4. 機能キー(1~10)

上から順に1、2、……、10となっています。 各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアでそのキーに 設定した機能が実行できます。 機能の割り当ては、SX-2000 設定ソフトウェアで行います。 ( ■37 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

# 表示灯の状態

# ■ ゾーン選択時の表示灯

機能キーにゾーン選択 (パターンまたは個別)の機能が割り当てられているとき、キーの横の2つの表示灯で、 ゾーンの選択状態と放送状態が分かります。

※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



表示灯	表示灯	の状態	表示内容
ゾーン選択表示灯	消灯	$\bigcirc \bigcirc$	ゾーン未選択
	緑色点灯	$\bigcirc \checkmark$	ゾーン選択中
放送状態表示灯	消灯	$\Diamond \Diamond$	この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンが未使用または BGM 放送中
	緑色点滅		この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンの一部またはすべてが 他の機器(他のリモートマイクや業務 EV メッセージなど)で放送中、 またはゾーンの一部が本機のマイクで放送中
	橙色点灯	$\diamond$	この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンがすべて本機で放送中
	橙色点滅		この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンがすべて他の「緊急/ 業務」に設定されたリモートマイクで放送中
	赤色点灯	/ 🖉	この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンがすべて緊急2メッセー ジで放送中
	赤色点滅		この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンがすべて緊急1メッセー ジで放送中
	緑色点灯		この放送ゾーン選択キーに設定されているゾーンがすべて復旧メッセージ で放送中





トークキーの横の2つの表示灯の表示内容は、下記のとおりです。

表示灯	表示灯の状態	表示内容
マイク表示灯	消灯 🖉 🖉	マイク未使用
	緑色点灯 🖉 🧪	マイク放送中
	緑色点滅	本機からチャイム放送中
放送状態表示灯	消灯 🖉 🖉	ゾーン未使用(マイク放送可)
	緑色点滅	本機で選択したゾーンの一部またはすべてが他の機器(他のリモートマ イクなど)で放送中、または本機で選択したゾーンの一部に本機で放送 中
	橙色点灯 🥏 🖉	本機で選択したすべてのゾーンに本機から放送中

# BGM パターン変更時の表示灯

機能キーにBGM パターン変更の機能が割り当てられているとき、キーの横の2つの表示灯で、選択状態と 放送状態が分かります。

※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



表示灯	表示灯の状態	表示内容
選択表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーを押していないとき
	緑色点灯 🖉 🖍	この機能キーを押したとき(点灯後すぐに消灯します。)
放送状態表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーに割り当てられたBGMパターンが放送されていないとき
	橙色点灯 🥏 🖉	この機能キーに割り当てられたBGMパターンが放送されているとき(他の 機器から起動された場合を含む)

### ■ 業務パターン放送時の表示灯

機能キーに業務パターンの機能が割り当てられているとき、キーの横の2つの表示灯で、選択状態と放送状態 が分かります。

※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



### それぞれの表示灯の表示内容は、下記のとおりです。

表示灯	表示灯の状態	表示内容
選択表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーを選択していないとき
	緑色点灯 🖉 🖍	この機能キーを選択しているとき
放送状態表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーに割り当てられた業務パターンが放送されていないとき
	橙色点滅	この機能キーに割り当てられた業務パターンが放送されているとき

## ┃業務 EV 放送時の表示灯

機能キーに業務EV放送の機能が割り当てられているとき、キーの横の2つの表示灯で、選択状態と放送状態 が分かります。

※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



表示灯	表示灯の状態	表示内容
選択表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーを押していないとき
	緑色点灯 🖉 🖉	この機能キーが押されて、業務 EV メッセージを放送している状態に なったとき
放送状態表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーに割り当てられた業務 EV メッセージが起動していないとき
	緑色点灯 🔷 🖉	この機能キーに割り当てられた業務 EV メッセージが、リモートマイク 以外の機器により放送中
	橙色点灯 🥏 🖉	この機能キーに割り当てられた業務 EV メッセージが、本機および他機 リモートマイクにより放送中

### ■ RM 放送状態表示時の表示灯

機能キーに、他のリモートマイクの現在の放送状態を表示します。

※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



それぞれの表示灯の表示内容は、下記のとおりです。

表示灯	表示灯の状態	表示内容
放送状態表示灯	消灯 🖉 🖉	この機能キーに割り当てられたリモートマイクが放送中でないとき
	橙色点灯 🥏 🖉	この機能キーに割り当てられたリモートマイクが放送中

## ■ ランプテスト時の表示灯

機能キーにランプテストの機能が割り当てられているとき、キーの横の2つの表示灯で、ランプテストの実 行状態が分かります。

ランプテストキーを押すと、本機のすべての表示灯が点灯し、本機のブザーが鳴ります。

- ※ RM-200SA の種類の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」をお読みください。
- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



表示灯	表示灯の状態	表示内容
ランプテスト	消灯 🖉 🖉	このランプテストキーを押していないとき
表示灯 	橙色・緑色 🥟 🥟 点灯	このランプテストキーを押し、ランプテストが実行されたとき

### ■ 故障受理時の表示灯

システムで故障検知を使用する設定にしているときに、機能キーに故障受理の機能を割り当てることができます。

機能キーに故障受理の機能が割り当てられているとき、キーの横の2つの表示灯で、故障パターンの発生・受 理の状態が分かります。

※ 故障検知の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。

- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。
- ※ 故障パターンの割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「パターン設定」をお読みくだ さい。



表示灯	表示灯の状態	表示内容
+−ON/OFF	消灯 🖉 🖉	この故障受理キーを押していないとき
表示灯  	緑色点灯 🖉 🧪	この故障受理キーを押したとき(押している間のみ)
故障受理状態 表示灯	橙色点滅	この故障受理キーに割り当てられた故障パターンが発生したとき
	橙色点灯 🧳 🖉	この故障受理キーを押した後、故障パターンが受理されたとき

### ■ 故障リセット時の表示灯

システムで故障検知を使用する設定にしているときに、機能キーに故障リセットの機能を割り当てることができます。

機能キーに故障リセットの機能が割り当てられているとき、キーを押すと、故障状態の表示をリセットする ことができます。キーを押したときのみ、キーの横の表示灯が点灯します。

※ 故障検知の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。

- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。
- ※ 故障パターンの割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「パターン設定」をお読みくだ さい。



表示灯	表示灯の状態	表示内容
キーON/OFF 表示灯	消灯 🖉 🖉	この故障リセットキーを押していないとき
	緑色点灯 🖉 🧪	この故障リセットキーを押したとき(押している間のみ)
## ■ 緊急放送パターン起動時の表示灯

システムで緊急放送機能を使用する設定にし、かつRM-200SAの種類を「緊急/業務」に設定しているとき に、カバー付きキーまたは機能キーに緊急放送起動の機能を割り当てることができます。 この機能が割り当てられているキーを押すと、緊急放送を起動することができます。 カバー付きキーの場合は、キーの横の緊急表示灯でSX-2000システムの緊急放送状態が分かります。

機能キーの場合は、キーの横の2つの表示灯で、SX-2000システムの緊急放送起動と緊急放送状態が分かり ます。

- ※緊急放送については、P.8-10「緊急放送のしかた」をお読みください。
- ※緊急放送の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。
- ※ RM-200SA の種類の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」をお読みください。
- ※ カバー付きキーおよび機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書 「イベント設定」をお読みください。

[カバー付きキーの場合]



表示灯の表示内容は、下記のとおりです。

表示灯	表示灯の	状態	表示内容
緊急放送表示灯	消灯 🖉		SX-2000システムが緊急放送状態でないとき
	赤色点灯		この緊急放送キーを押して緊急放送パターンを起動したとき、または、 SX-2000システムが緊急放送状態のとき

[機能キーの場合]



表示灯	表示灯の状態		表示内容
キーON/OFF	消灯	$\Diamond \Diamond$	この緊急放送パターン起動キーを押していないとき
表示灯 	緑色点灯	$\Diamond \diamond$	この緊急放送パターン起動キーを押したとき(押している間のみ)
緊急放送状態 表示灯	效送状態 消灯 ◇ ◇		この緊急放送パターン起動キーに設定されている緊急放送パターンが放送 されていないとき
	赤色点灯	<b>/</b> />	この緊急放送パターン起動キーに設定されている緊急放送パターンが放送 されているとき

## ■ 緊急放送パターン停止時の表示灯

システムで緊急放送機能を使用する設定にし、かつ RM-200SA の種類を「緊急/業務」に設定しているとき に、機能キーに緊急放送パターン停止の機能を割り当てることができます。

この機能が割り当てられているキーを押すと、緊急放送を停止することができます。キーを押したときのみ、 キー横の表示灯が点灯します。

※緊急放送については、P. 8-10「緊急放送のしかた」をお読みください。

- ※ 緊急放送の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。
- ※ RM-200SA の種類の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」をお読みくだ さい。
- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。

それぞれの表示灯の表示内容は、下記のとおりです。

表示灯	表示灯	の状態	表示内容
キーON/OFF 表示灯	消灯	$\bigcirc \bigcirc$	この緊急放送パターン停止キーを押していないとき
	緑色点灯	$\bigcirc \checkmark$	この緊急放送パターン停止キーを押したとき(押している間のみ)

## ■ 緊急シーケンス停止時の表示灯

システムで緊急放送機能を使用する設定にし、かつ RM-200SA の種類を「緊急/業務」に設定しているとき に、機能キーに緊急シーケンス停止の機能を割り当てることができます。

この機能が割り当てられているキーを押すと、設定された緊急シーケンスを含むすべての緊急放送パターン を停止することができます。キーを押したときのみ、キー横の表示灯が点灯します。

- ※緊急放送については、P.8-10「緊急放送のしかた」をお読みください。
- ※緊急放送の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。
- ※ RM-200SA の種類の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」をお読みくだ さい。
- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。

表示灯	表示灯の状態	表示内容
+−ON/OFF	消灯 🖉 🖉	この緊急シーケンス停止キーを押していないとき
表示灯	緑色点灯 🖉 🖍	この緊急シーケンス停止キーを押したとき(押している間のみ)

リモートマイク拡張ユニット RM-210

## ■ 緊急シーケンスフェーズ移行時の表示灯

システムで緊急放送機能を使用する設定にし、かつ RM-200SA の種類を「緊急/業務」に設定しているとき に、機能キーにこの機能を割り当てることができます。

この機能が割り当てられているキーを押すと、設定された緊急シーケンスを次のフェーズに移行させること ができます。キー横の2つの表示灯で緊急シーケンスフェーズの状態が分かります。

※緊急放送については、P.8-10「緊急放送のしかた」をお読みください。

- ※緊急放送の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。
- ※ RM-200SA の種類の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」をお読みください。
- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



表示灯	表示灯の状態	表示内容
キーON/OFF	消灯 🖉 🖉	このフェーズ移行キーを押していないとき
表示灯 	緑色点灯 🖉 🖉	このフェーズ移行キーを押したとき(押している間のみ)
フェーズ状態 表示灯	緑色点灯 🛷 🖉	このフェーズ移行キーに設定されている緊急シーケンスが第1フェーズの とき
	緑色点滅	このフェーズ移行キーに設定されている緊急シーケンスが第2フェーズの とき
	消灯 🔷 📿	このフェーズ移行キーに設定されている緊急シーケンスが第3フェーズの とき

## ■ 緊急復旧時の表示灯

システムで緊急放送機能を使用する設定にし、かつ RM-200SA の種類を「緊急/業務」に設定しているとき に、機能キーにこの機能を割り当てることができます。

この機能が割り当てられているキーを押すと、すべての緊急放送パターンを停止して復旧のEVメッセージを 放送した後、緊急放送状態を解除させることができます。キーの横の2つの表示灯で、緊急復旧の状態が分 かります。

※緊急放送については、P. 8-10「緊急放送のしかた」をお読みください。

- ※緊急放送の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」をお読みください。
- ※ RM-200SA の種類の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」をお読みくだ さい。
- ※機能キーへの機能の割り当て方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。



表示灯	表示灯の状態		表示内容
+−ON/OFF	消灯 🖉 🖉		この緊急復旧キーを押していないとき
表示灯 	緑色点灯	$\Diamond$	この緊急復旧キーを押したとき(押している間のみ)
復旧EV放送状態	消灯	$\Diamond \Diamond$	この緊急復旧キーに設定されている復旧のEVメッセージが停止中
表示灯 	緑色点灯		この緊急復旧キーに設定されている復旧のEVメッセージが起動中

# 第8章

# 操作のしかた

# / BGM 放送と業務放送のしかた

## SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO から放送する

前面パネルの機能キーまたはチャンネルキーを使って放送することができます。



## ● 機能キーを使って放送する

前面パネルの機能キーF1~4を使って、BGMパターン変更または終了、および業務パターン放送の起動・ 停止ができます。

機能キーへの機能の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読みください。

[機能キーの設定例]

+-	項目名	機能
機能キーF1	BGMパターン1	BGMパターン1の放送起動
機能キーF2	BGMパターン2	BGMパターン2の放送起動
機能キーF3	BGM終了	BGMの終了
機能キーF4	業務パターン1	業務パターン1の放送起動・停止

#### [BGM 放送の例]

例えば、午前中にBGM パターン1のBGM 放送を行い、午後にBGM パターン2のBGM 放送に切り換えた後、 BGM 放送を終了するときは、次の手順で操作します。

**7** 機能キーF1(BGMパターン1)を押す。

BGM パターン1による BGM 放送が起動します。

2 機能キーF2 (BGMパターン2)を押す。 BGMパターン1による放送から、BGMパターン2による放送に切り換わります。

**3** 機能キーF3 (BGM 終了)を押す。 BGM が終了します。 [業務パターン放送の例]

業務パターン放送1を起動・停止するときは、次の手順で操作します。

**1** 機能キーF4(業務パターン1)を押す。 業務パターン1による放送が起動します。

2 機能キーF4(業務パターン1)をもう一度押す。 業務パターン1による放送が終了します。

### ● チャンネルキーを使って放送する

前面パネルのチャンネルキー1~8を使って、業務パターン放送の起動・停止をすることができます。 チャンネルキーへの機能の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読み ください。

[機能キーの設定例]

チャンネルキー	項目名	機能
1	ON/OFF	チャンネル1のON/OFF
2	ON/OFF	チャンネル2のON/OFF
3	ON/OFF	チャンネル3のON/OFF
4	ON/OFF	チャンネル4のON/OFF
5	ON/OFF	チャンネル5のON/OFF
6	ON/OFF	チャンネル6のON/OFF
7	ON/OFF	チャンネル7のON/OFF
8	業務パターン2	業務パターン2の放送起動・停止

[業務パターン放送の例]

業務パターン放送2を起動・停止するときは、次の手順で操作します。

**1** チャンネルキー8(業務パターン2)を押す。 業務パターン2による放送が起動します。

2 チャンネルキー8 (業務パターン2)をもう一度押す。 業務パターン2による放送が終了します。

## ■ RM-200SA、RM-210 から放送する

機能キーを使って、マイク放送、BGM放送(変更、終了)、業務パターン放送の起動・停止、および業務EV 放送の起動・停止ができます。 機能キーへの機能の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読みください。

ここでは、RM-200SAを例にRM-200SA/210の基本操作と表示について説明します。

[機能キーの設定例]

+-	項目名	機能
機能キーR1	ゾーン1、2、3	ゾーン選択(パターン)
機能キーR2	ゾーン1	ゾーン選択(個別)
機能キーR3	ゾーン2	ゾーン選択(個別)
機能キーR4	ゾーン3	ゾーン選択(個別)
機能キーR5	ゾーンクリア	選択されているゾーンを解除します。
機能キーR6	業務パターン1	業務パターン1の放送起動・停止
機能キーR7	業務EV放送	業務EVメッセージの放送起動・停止
機能キーL1	BGMパターン1	BGMパターン1の放送起動
機能キーL2	BGMパターン2	BGMパターン2の放送起動
機能キーL3	BGM終了	BGMの終了
トークキー		ロック式、Start Chime:1、End Chime:なし



● 選択ゾーン(パターン)の放送例

7 機能キーR1 (ゾーン1、2、3)を押す。 設定されているすべてのゾーンが選択され、機能キーR1の ゾーン選択表示灯が緑色で点灯します。

※ 選択を解除するときは、機能キー R1 をもう一度押すか、 または機能キー R5(ゾーンクリア)を押します。 ゾーン選択表示灯が消灯します。





**3** トークキーのマイク表示灯が緑色の点灯に変わったら、マイク放送を行う。

機能キーR2~R4のゾーン設定は、機能キーR1のゾーン 選択パターンに含まれます。そのため、機能キーR2~R4 の放送状態表示灯も同様に橙色で点灯します。





4 トークキーを押す。 放送が終了します。

5 機能キーR5 (ゾーンクリア)を押す。 ゾーン選択が解除されます。

※ ゾーン選択状態をそのまま残したいときは、ゾーンクリアの操作をする必要はありません。

● 選択ゾーン(個別)の放送例

**2** トークキーを押す。

緑色で点滅します。

こえます。

チャイム音が放送されます。

て放送が終了します。

1 機能キー R2 (ゾーン1) と機能キー R3 (ゾーン2)を 押す。 ゾーン1、2が選択され、それぞれのゾーン選択表示灯が

緑色で点灯します。

※ 選択を解除するときは、解除したいゾーンの機能キー をもう一度押します。そのキーのゾーン選択表示灯が 消灯します。 すべての選択を解除するときは、機能キーR5(ゾーン クリア)を押します。両方のゾーン選択表示灯が消灯 します。





3 トークキーのマイク表示灯が緑色の点灯に変わった 機能キー 緑色点滅 ら、マイク放送を行う。 R1 (ゾーン1、2、3) 機能キー R1 の放送状態表示灯は、設定されているパターン の一部が放送状態になるため、緑色の点滅になります。 R2 (ゾーン1) 橙色 緑色 R3 / / (ゾーン2) R4  $\bigcirc \bigcirc$ (ゾーン3) トークキー 橙色 緑色 / / 000 4 トークキーを押す。

放送が終了します。

5 機能キーR5(ゾーンクリア)を押す。 ゾーン選択が解除されます。

※ ゾーン選択状態をそのまま残したいときは、ゾーンクリアの操作をする必要はありません。

#### BGM 放送の例

例えば、午前中にBGMパターン1のBGM放送を行い、午後にBGMパターン2のBGM放送に切り換えた後、 BGM放送を終了するときは、次の手順で操作します。

機能キーL1(BGMパターン1)を押す。
 BGMパターン1が選択され、起動します。
 機能キーL1の選択表示灯が緑色に点灯して消灯した後、
 放送状態表示灯が橙色に点灯します。

※ 選択を解除するときは、機能キーL3(BGM 終了)を 押します。 放送状態表示灯が消灯します。

2 機能キーL2(BGMパターン2)を押す。
 BGMパターン2が選択され、BGMパターン1が終了して、
 BGMパターン2が起動します。
 機能キーL2の選択表示灯が緑色に点灯して消灯した後、
 放送状態表示灯が橙色に点灯します。
 機能キーL1の放送状態表示灯は消灯します。

機能キーL3(BGM 終了)を押す。

すべての表示灯が消灯します。

BGMが終了します。







● 業務放送の例

3

7 機能キーR6(業務パターン1)を押す。 業務パターン1が選択され、起動します。 機能キーR6の選択表示灯が緑色に点灯、放送状態表示灯が 橙色に点滅します。



2 機能キーR6(業務パターン1)をもう一度押す。 選択中の機能キーをもう一度押すことで、業務パターン1 が停止します。 機能キーR6の選択表示灯と放送状態表示灯が消灯します。



## ● 業務 EV 放送の例

ここでは、ゾーンパターンを使用した例について説明します。

1 機能キーR1 (ゾーン1、2、3)を押す。 設定されてるすべてのゾーンが選択され、機能キーR1の ゾーン選択表示灯が緑色に点灯します。

※ 選択を解除するときは、機能キーR1をもう一度押すか、 または機能キーR5(ゾーンクリア)を押します。 選択表示灯が消灯します。







# 緊急一斉放送のしかた

システムの故障などで通常の放送ができないときに、次の操作により一斉放送のみ行うことができます。 これは、SX-2000システムが通常放送時に使用している CPU\*1をバイパスさせて、行う放送です。(詳しく は、別冊の設置説明書「設置のしかた」「接続のしかた」をお読みください。) ただし、非常断 24 V\*2状態のときは、非常放送が優先になりますので、緊急一斉放送はできません。

\*1 信号処理装置でSX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、およびSX-2000AOに搭載

\*2 SX-2000 システムは、非常音声入力を制御するための非常断 24 V 入力端子を SX-2000AO 後面に備えてい ます。SX-2000 システムを非常放送システムと組み合わせて使用する場合、通常はこの端子に DC24 V を 供給し、非常時に DC24 V 入力を断つこと(非常断 24 V)により SX-2000 システムの業務放送を停止し て非常放送に切り換わります。(詳しくは、別冊の設置説明書「設置のしかた」「非常用システムとの組み 合わせ」をお読みください。)

緊急一斉放送は、SX-2000 設定ソフトウェアでの設定に関係なく、以下の方法で行えます。

緊急一斉放送キーのカバーを開けてキーを押し続け、異常表示灯が赤色に点灯したら、キーを 押したまま、マイクから放送する。

※4秒以上キーを押し続けると、異常表示灯が赤色に点灯します。



## ご注意

緊急一斉放送を行うには、あらかじめリモートマイクRM-200SAの DIP スイッチ5で CPU オフ機能(緊急一斉放送)を ON にしておく 必要があります。

※ 工場出荷時の DIP スイッチ5 は ON に設定されています。



🖊 緊急放送のしかた

## ■ 緊急放送とは

緊急放送とは、システムで緊急放送を使用する設定にしているときに、BGM 放送や業務放送よりも高い優先 度で行うことができる放送です。

緊急放送は、あらかじめ緊急放送パターンを設定し、設定されたパターンを起動させて放送します。

緊急放送パターンは、緊急シーケンス、出力ゾーン(個別またはパターン)、制御出力パターンを組み合わせ て使用します。

緊急シーケンスは、EVメッセージ(音源)とその放送時間との組み合わせを1つのフェーズとして設定し、 最大3段階のフェーズで構成します。

		第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ
	緊急 シーケンス	EV メッセージ + 放送時間	EV メッセージ + 放送時間	EV メッセージ + 放送時間
緊急放送 パターン 	出力ゾーン	個別または パターン(複数のゾーン)	個別または パターン(複数のゾーン)	個別または パターン(複数のゾーン)
制御出力パターン		複数の制御出力	複数の制御出力	複数の制御出力

[緊急放送パターンの構成]

それぞれの設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書をお読みください。

## ■ RM-200SA、RM-210 から放送する

リモートマイクの緊急放送キー、機能キーを使って、緊急放送パターンの起動・停止、緊急復旧、シーケン スフェーズ移行ができます。 各キーへの機能の設定方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読みください。

ここでは、RM-200SA を例に RM-200SA/210 の緊急放送に関する操作と表示について説明します。

[緊急放送キー、機能キーの設定例]

+-	項目名	機能
緊急放送キー	緊急放送パターン1起動	緊急放送パターン1を起動します。
機能キーL1	緊急シーケンス1フェーズ移行	緊急シーケンス1のフェーズを次に移行させます。
機能キーL2	緊急シーケンス1停止	緊急シーケンス1を停止させます。
機能キーL3	緊急復旧	緊急放送を終了し、通常状態に復旧する。
機能キーR1	ゾーン1	ゾーン選択(個別)
機能キーR2	ゾーン2	ゾーン選択(個別)
機能キーR3	ゾーン3	ゾーン選択(個別)
機能キーR4	ゾーン4	ゾーン選択(個別)



[緊急放送の設定例]

• 緊急シーケンスの設定

緊急シーケンス 1	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ
	EV メッセージ 1、5 分放送	EV メッセージ 2、連続放送	

※この例では第3フェーズは設定しません。

• EV メッセージの設定

メッセージ名称	音源ファイル	タイプ
EV メッセージ1	sign001.wav	緊急 1
EV メッセージ2	sign002.wav	緊急 2
EV メッセージ3	sign003.wav	復旧

•出力ゾーンパターンの設定

出力ゾーンパターン(番号)	1	ゾーン1のみに出力
	2	全ゾーンに出力

•緊急放送パターンの設定

	<b>Fy</b> 在	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ
緊急放送 パターン 1	緊急   シーケンス 1	EV メッセージ 1、 5 分放送	EV メッセージ 2、 連続放送	
	出力ゾーン	出力ゾーンパターン 1	出力ゾーンパターン 2	

[緊急放送の操作例]

7 緊急放送キー(緊急放送パターン1起動)のカバーを開けて押す。 緊急放送パターン1が起動します。 このとき、緊急放送表示灯が赤色に点灯します。



また、機能キーR1 (ゾーン1選択)の放送状態表示灯が 赤色に点滅し、ゾーン1にはEVメッセージ1が放送さ れます。

[EVメッセージ放送中にマイク放送をするとき]

機能キーR1(ゾーン1選択)を押してゾーン1を選択し、 トークキーを押してマイク放送をします。 ゾーン1ではEVメッセージ放送が中断し、マイク放送 になります。

- ※ 種類を「緊急/業務」に設定されたリモートマイク からのマイク放送は、いつでも緊急放送に割り込ん で行うことができます。
- ※マイク放送終了後のEVメッセージの動作(「有効」 または「無効」)は、SX-2000設定ソフトウェアで設 定できます。詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説 明書「基本設定」をお読みください。

橙色 緑色





2 機能キーL1 (緊急シーケンス1フェーズ移行)を押す。 緊急放送パターン1のシーケンスが第1フェーズから第2フェーズに切り換わり、全ゾーン(ゾーン1~ 4)にEVメッセージ2が放送されます。 機能キーL1のフェーズ状態表示灯は緑色の点灯から点滅に変わります。 機能キーR1~R4(ゾーン1~4選択)の放送状態表示灯が赤色に点灯します。



※ 手順1の状態で何も操作をせずに5分間経過すると、自動的に第1フェーズから第2フェーズに切り 換わります。

3 機能キーL2(緊急シーケンス1停止)を押す。
緊急放送が停止し、ゾーン1~4に放送されていたEVメッセージが停止します。
機能キーR1~R4(ゾーン1~4選択)の放送状態表示灯が消灯します。
このとき、緊急放送キー(緊急放送パターン1起動)の緊急放送表示灯は赤色に点灯したままです。





# 4 機能キーL3 (緊急復旧)を押す。

EVメッセージ3がゾーン1~4に放送され、機能キーR1~R4(ゾーン1~4選択)の放送状態表示灯が 緑色に点灯します。



EV メッセージ放送終了後は、緊急放送に関連するすべての表示灯が消灯します。

# 入出力音量を調節する

SX-2000AI、SX-2100AIの前面パネルから各入力チャンネルの音量を調節できます。 また、SX-2000AOの前面パネルから各出力チャンネルの音量を調節できます。 音量の調節のしかたは、どちらも同じです。



\* SX-2000AOではそれぞれ出力音量つまみ、出力ON/OFF表示になります。

[チャンネルキーが入力 (出力) ON/OFF 機能に設定されているとき (デフォルト)]

調節したいチャンネルをチャンネルキーで ON にし、そのチャンネルの入力 (出力) 音量つまみで調節します。

ONにすると、蛍光表示部の入力(出力)ON/OFF表示が点灯します。 ただし、入力(出力)音量つまみを反時計方向いっぱいに回していると、OFFのままで、入力(出力) ON/OFF表示も消灯します。

入力(出力)音量つまみでの設定値はメニュー画面(AI8、ai8、AO8)で確認できます。 ( 📭 P. 2-12、P. 3-12、P. 4-12)

[チャンネルキーが入力 (出力) ON/OFF 以外の機能に設定されているとき]

チャンネルキーが入力 (出力) ON/OFF 以外の機能に設定されているチャンネルは、常に ON になっています。 そのチャンネルの入力 (出力) 音量つまみだけを操作すれば、音量の調節ができます。

入力(出力)音量つまみでの設定値はメニュー画面(AI8、ai8、AO8)で確認できます。 ( 📭 P. 2-12、P. 3-12、P. 4-12)

# 入出力チャンネルをモニターする

SX-2000AI、SX-2100AI、およびSX-2000AOの前面パネルには、モニタースピーカーが装備されており、 SX-2000AI、SX-2100AIでは各入力チャンネル、SX-2000AOでは各出力チャンネルをモニターすることがで きます。

モニターのしかたは、すべて同じです。



※ 蛍光表示部の表示については、デフォルト表示の画面での動作を記述しています。

1 モニター ON/OFF キーを ON にする。 蛍光表示部のモニター ON/OFF 表示、モニターレベルメーター目盛りが点灯します。

2 プラスキーまたはマイナスキーでモニターしたい入力(出力)チャンネルを選択する。 プラスキーを押すたびにチャンネル番号が小さい番号から順に大きい番号へ移動し、マイナスキーを 押すたびに大きい番号から順に小さい番号へ移動します。 選択されているチャンネルは、蛍光表示部の入力(出力)選択表示が赤色に点灯します。

3 モニター音量つまみで音量を調節する。

# お障検知機能の使いかた

SX-2000 システム内において故障が発生したとき、次のキーまたは端子を使って故障状態を表示・受理・ リセットすることができます。

- ・SX-2000SMのFAULT ACK キー、FAULT RESET キー
- ・SX-2000SMの情報入力端子(ACK 端子と RES 端子)
- ・SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CIの制御入力端子
- ・RM-200SA、RM-210の機能キー

※ SX-2000 システムの故障を検知する場合の設定方法は、別冊のソフトウェア取扱説明書をお読みください。

## [故障の発生例]

次のようなシステム構成で、1台のRM-200SAとSX-200RMの接続線が外れたとします。



音声出力ユニット SX-2000AO

## [SX-2000SM の操作例]

故障を検知すると、SX-2000SMのブザー音が鳴り、前面のGENERAL表示灯が点滅します。

	GENER	AL (	FAUL	T FAULT RESET	LAMP TEST	
SX-2000SM			1			
	UNK/ACT O LAN O SX LINK A O SX LINK B	MODE O EMERGENCY O CPU OFF O STANDBY	FAULT O GENERAL O CPU O SX LINK	FAULT FAULT LAMP ACK RESET TEST	O POWER O RUN	0

**1** SX-2000SMのFAULT ACK キーを押し、故障を受理する。

ブザー音が停止し、GENERAL表示灯が点滅から点灯に変わります。



- ※ SX-2000SM 後面の情報入力端子(ACK 端子)を短絡することでも、システムの故障を受理することができます。
- ※ SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI後面の制御入力端子に故障受理の機能を割り当 てると、制御入力によっても、システムの故障を受理することができます。詳しくは、別冊のソフト ウェア取扱説明書「イベント設定」をお読みください。

**2** 原因を特定し、取り除く。(RM-200SAの接続線を正しく接続する。)

SX-2000SMに挿入されている CF カードを抜き取り、パソコンと接続して SX-2000 設定ソフトウェアで 履歴データを読み込みます。(操作方法の詳細 ■③ P. 1-5 「履歴データの取り込み」)

#### メモ

SX-2000SMとパソコンを通信接続することにより、オンラインで履歴データを確認することもできます。詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書「ユーティリティー」をお読みください。

この例では1台のRM-200SAの接続異常が履歴に残っています。内容を確認し、RM-200SAとSX-200RMの接続線を正しく接続してください。

LAMP TEST

**3** 故障情報をリセットする。 故障リセットの方法には、次の3通りあります。

- **3-1 FAULT RESET キーを使ってリセットする**。 DIP スイッチ4( II P. 1-3)の設定により、操作モードが異なります。

● 誤操作防止モード: DIP スイッチ4が ON の場合

FAULT RESET キーを3回押します。3回目は2秒以上押してください。(下図参照) 3回目にキーを押してから2秒経過すると、GENERAL表示灯が消え、通常の状態に戻ります。



#### ご注意

FAULT RESET キーを押していない状態が2秒以上続くと、それまでの操作が無効になります。

3-2 情報入力端子(RES 端子)を使ってリセットする。

DIP スイッチ4( II S P. 1-3)の設定に応じて、FAULT RESET キーの操作と同様のタイミングで短絡してください。

● DIP スイッチ4が OFF(デフォルト)の場合(ワンタッチモード)



● DIP スイッチ4が ON の場合(誤操作防止モード)



#### 3-3 制御入力端子を使ってリセットする。

故障リセットの機能を割り当てた端子を使ってリセットします。 (機能の割り当てについては、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読みください。) DIP スイッチ4の設定に関係なく、ワンショットパルスで短絡してください。



#### [制御入力端子を使って故障受理と故障リセットをする例]

SX-2000SM、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI後面の制御入力端子に故障受理の機能、故障リセットの 機能を割り当てておきます。

(詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」をお読みください。) 各機能を割り当てた端子をワンショットパルスで短絡してください。



※制御入力端子による故障リセットのしかたは、SX-2000SMのDIPスイッチ4の設定には影響されません。

#### [RM-200SAの操作例]

故障を検知すると、P. 8-18の例では、機器番号2のRM-200SAのブザー音が鳴り、故障受理状態表示灯 ( ■③ P. 7-9) が点減します。



**2** 原因を特定し、取り除く。(RM-200SAの接続線を正しく接続する。)

SX-2000SMに挿入されている CF カードを抜き取り、パソコンと接続して SX-2000 設定ソフトウェアで 履歴データを読み込みます。(操作方法の詳細 © P. 1-5「履歴データの取り込み」)

#### メモ

SX-2000SM とパソコンを通信接続することにより、オンラインで履歴データを確認することもできます。詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書「ユーティリティー」をお読みください。

P. 8-18の例では1台のRM-200SAの接続異常が履歴に残っています。内容を確認し、RM-200SAとSX-200RMの接続線を正しく接続してください。

3 故障リセットキー ( № P. 7-10)を押す。 故障受理状態表示灯が消え、通常状態に戻ります。

故障受理状態表示灯				
キーON/OFF表示灯				
消灯 🖉 🖉 🚺 故障受理キー				
☆ ◆ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓				
(キーON/OFF表示灯は 押している間のみ点灯)				



SX-2000SM、RM-200SA、RM-210の各機器でランプテストを実行すると、その機器の表示灯をすべて点灯 させ、内蔵のブザーを鳴らして表示灯とスピーカーの動作確認をすることができます。

## ■ リモートマイクの操作例

[機能キーの設定例]

キー	項目名	機能
機能キーL1	ランプテスト	リモートマイクのランプテストをします。



※機能キーへの機能の割り当て方法については、 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」 をお読みください。

[機能キーの操作例]

- 7 ランプテストキーを押し続ける。
   すべての表示灯が点灯し、RM-200SA本体のブザーが鳴ります。
   RM-210を接続している場合は、接続されているすべてのRM-210も同様にすべての表示灯が点灯します。

   2 表示灯とスピーカーの動作確認をする。
- 3 ランプテストキーを離し、ランプテストを終了する。



## ■ SX-2000SM の操作例

# **1** ランプテストキーを押し続ける。

EMERGENCY表示灯、CPU OFF表示灯、STANDBY表示灯、GENERAL表示灯、CPU表示灯、 SXLINK表示灯のすべての表示灯が点灯し、SX-2000SM本体のブザーが鳴ります。



2 表示灯とブザーの動作確認をする。

3 ランプテストキーを離し、ランプテストを終了する。



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA ホームページ http://www.toa.co.jp/